



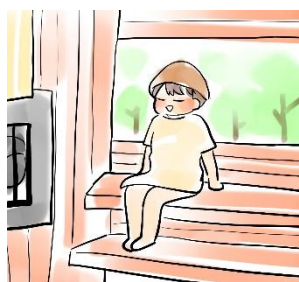
今月のトピック：【泊食分離】

宿泊と食事を別立てにする「泊食分離」の宿泊施設が好評です。個人旅行やインバウンドの増加で需要が多様化し、素泊まりや夕食の自由な選択を楽しむ人が増えています。一泊二食が基本の温泉宿も、人手不足の解消や連泊客の増加のメリットは見逃せません。地域飲食店が活性化して賑わう温泉街も現れ、地方創生の成功例として注目です。



今月のネタ話：【個性派サウナがひらく「チルい」ビジネスチャンス】

近年、大手チェーンとは一線を画す、個性豊かな中小規模のサウナ施設が全国で注目を集めています。「ととのう」を追求するこれらの施設は、単なる温浴施設を超えて独自の魅力を放っています。成功の鍵は地域密着



のこだわり。地域特産の素材を生かした水風呂。施設ごとに異なるユニークなロウリュ体験（フィンランド式のサウナ入浴法）。プライベート感を重視した貸し切りサウナなど、細部まで利用者の「チルい」体験を追求し、これがSNSを通じて若年層を中心に拡散され、クチコミで人気に火がつき、遠方からの利用者も呼び込んでいます。さらにはサウナにカフェやコワーキングスペースを併設し、かつてないコミュニティ拠点へと進化させる複合施設化の動きもあり、サウナ後のリラックスタイムを充実させるだけでなく、新たなビジネスや交流を生む場としても機能しています。「チルい」ニーズに応える個性派サウナの躍進は、機動力とユニークな発想が新たな価値を創造できることを示唆しているようです。



来る10月8日は「骨と関節の日」。ホネのホという字が漢数字の十と八に分けられること、また旧「体育の日」に近く、骨の健康にふさわしい季節でもあることから日本整形外科学会が制定しました。ところで運動器の障害のために立ったり歩いたりするための身体能力（移動機能）が低下した状態を「ロコモティブシンドローム（運動器症候群）」というのだとか。クリニックなどで「ロコモ予防」のポスターを見かけたことがある方もいらっしゃるかもしれません。ロコモが怖いのは日常生活に支障はなくても、すでに進行している場合が少なくないこと。また高齢者の症状と誤解されがちですが、実は若い人も一定の割合で発症していること。日本整形外科学会・公式サイト「ロコモ度テスト」で、ぜひチェックしてみてください！記念日には私たちの暮らしを支えてくれる「骨と関節」に感謝しながらロコモ予防を目指し、健康寿命を延ばすきっかけにしませんか。



今月のキーワード：【Kiwi】

9月1日は語呂合わせで「キウイの日」。世界最大のキウイ“kiwifruit”販売業者が日本で制定したそうです。キウイといえばニュージーランドですね。「ニュージーランド人」を“New Zealander”といいます。愛称の“Kiwi”もよく使われており“I'm a Kiwi.”で「私はニュージーランド人です」の意味。ニュージーランドでよく耳にする「キアオラ」“Kia ora”は公用語のひとつであるマオリ語で、ハワイ語の「アロハ」と同じように「こんにちは」「ありがとう」などの意味があります。

輪ゴムの知恵袋。液だれしやすいボトルの口に輪ゴムを巻けば液だれ防止に。S字フックの先に何重か巻けば、掛け物が滑り落ちるのを防げます。開いたままにしておきたいレシ本や参考書に輪ゴムを挟めば、ページが勝手に閉じたり風でめくれたりを防げます。

